

プレスリリース

大使館の美術展 III —文化交流随想— ブルガリア共和国大使館

Exhibitions of Embassies Part III: Pathways to Cultural Exchange with the World

東京富士美術館は、これまで世界 34 カ国地域の美術館や文化機関との友好関係を築きながら、各国の優れた芸術を新しい視点から紹介する海外文化交流特別展を開催してまいりました。また、51 回にわたる海外文化交流特別展の歴史は、そのまま当館の文化交流の足跡でもあります。

「大使館の美術展」第 3 回目となる今回は、「駐日ブルガリア共和国大使館」です。同大使館の全面的な協力のもと、大使館および大使公邸が所蔵するブルガリア人やブルガリアに縁のある作家による 20 世紀絵画コレクションを中心に展示します。日本ではあまり知られてこなかった東欧の 20 世紀の美術文化ですが、バルカン半島の東に位置するブルガリアは、先住民のトラキア人による金銀遺宝をはじめ、ギリシア・ローマ時代、ビザンティン時代、トルコ支配時代、民族復興期など、各時代の多様かつ重要な美術品が残されています。特に、9 世紀にキリルとメトディオス兄弟およびその弟子らによってつくられたキリル文字は、ビザンティンの教典とともに各国に伝えられ現在に至ります。本展ではキリル文字が描かれたイコンや多様なデザインを誇る民族衣装等もあわせて展示し、醸成された歴史と文化を誇るブルガリアの一端を紹介いたします。



◆開催概要

展覧会名： 大使館の美術展 III —文化交流随想—
ブルガリア共和国大使館

Exhibitions of Embassies Part III: Pathways to Cultural Exchange with the World

※同時開催

サムライ・アート展—刀剣、印籠、武具甲冑、武者絵、合戦絵—（本館／企画展示室）

明治の写真～彩られた Nippon（新館／常設展示室 第 6 室）

西洋絵画 ルネサンスから 20 世紀まで（新館／常設展示室 第 1-5 室）

会 場： 東京富士美術館 新館・常設展示室 7
〒192-0016 東京都八王子市谷野町 492-1
TEL.042-691-4511

会 期： 2024(令和 6)年 10 月 12 日(土)～12 月 22 日(日)

休館日： 毎週月曜日、11 月 5 日(火) ※11 月 4 日(月祝)は開館

開館時間： 10:00～17:00(16:30 受付終了)

入場料金： 大人 1,500(1,200)円、大高生 900(800)円、
中小生 500(400)円、未就学児無料
※全ての展示室をご覧になれます
※（ ）内は各種割引料金 [20 名以上の団体、65 歳以上
の方、当館公式 SNS 登録者ほか]
※土曜日は中小生無料
※障がい児者、付添者 1 名は通常料金の半額 [証明書を
ご提示ください]

主 催： 東京富士美術館 共 催： 駐日ブルガリア共和国大使館

後 援： 外務省 協 力： ICOM 日本委員会

問い合わせ先： TEL.042-691-4511 FAX.042-691-4623
E-mail: toiwase@fujibi.or.jp

◆出品作品

主な作品をご紹介します。

出品作品一覧につきましては、別紙をご確認下さい。



ヒンコ・ヒンコフ 《農場》



ケアジム・イシノフ 《反映》



マヤ・ドチェヴァ 《春》



作者不詳 《イコン》



民族衣装(女性)



パベル・ミトコフ 《コプリフシティツァの家》



パベル・ミトコフ 《夜の夢》

※出品作品総数 37 点

◆会期中のイベント(予定) ※詳細につきましては今後ホームページ
www.fujibi.or.jp にてお知らせします。

10月19日(土) 富士美茶会

11月 2日(土) 大使館講演会「ブルガリアの文化」

11月 9日(土) ワークショップ「山美イレン先生のブルガリア刺繍」

11月30日(土) フィリップ先生のダンスワークショップ

～サムライ・アート編

11月30日(土) ティータイムライブ「ヴァイオリン&アコーディオン」

12月 7日(土) ワークショップ「マルテニツツア作り」

「キリル文字を書こう」

12月14日(土) 創茶会による呈茶席

12月21日(土) 富士美茶会



※リラ修道院(世界文化遺産)



※ピリン国立公園(世界文化遺産)



※ブルガリア共和国の国花(バラ)





ПОСОЛСТВО НА РЕПУБЛИКА БЪЛГАРИЯ В ТОКИО
駐日ブルガリア共和国大使館
EMBASSY OF THE REPUBLIC OF BULGARIA IN TOKYO



ブルガリア人と日本人はお互いの文化や歴史に対し関心を持ち続け、特別な絆で結ばれています。2024年には両国の初めての交流開始から115周年を迎えます。ブルガリアと日本は、自由、民主主義、人権や法の支配といった共通の価値観に基づき、親密な友好関係や相互に利益がある協力関係へと発展しています。

ブルガリアはとても親日な国です。ブルガリア人は、日本や日本文化に対して大変興味をもっており、毎年およそ1,400人の若者が日本語を勉強していて、人口に占める日本

語学習者の割合ではヨーロッパで一番多いといわれています。日本でもブルガリア語に対する関心が高まっています。現在6つの日本の大学で学生がブルガリア語を学んでいます。

駐日ブルガリア大使館のミッションは、二国間の友好関係の発展、貿易と投資の促進、IT、イノベーション分野での協力強化に貢献し、教育交流に積極的に取り組むことです。これにより、将来に向けて日本との新たなパートナーシップを構築することができます。日本におけるブルガリアのポジティブなイメージをさらに醸成し、両国の政府間だけでなく、両国民の文化的対話と交流を促進するために、皆さんと一緒に働けることを期待しています。

駐日ブルガリア共和国特命全権大使
マリエタ・アラバジエヴァ閣下

ブルガリア共和国とは



ブルガリア共和国は、バルカン半島に位置しており、ルーマニア、セルビア、北マケドニア、ギリシャ、トルコと国境を接しています。

また、東には黒海があり、気候は大陸性気候です。ブルガリアはヨーロッパとアジアを繋いでおり、文化のクロスロードと言われています。ブルガリアの面積は11万1千km²

で、現在人口はおよそ670万人です。言語はブルガリア語で、文字はキリル文字です。キリル文字は9世紀に作られ、ブルガリアで最初に使われた文字です。9世紀以降キリル文字はブルガリアからほかの国にも普及しました。ブルガリアが2007年EU加盟国になってから、キリル文字はラテン文字とギリシャ文字に続き、EUの第三の文字のひとつになりました。宗教は主にキリスト教です。681年建国以来、ヨーロッパで同じ名前で存在する国の中で最も古い国です。多くの民族や国の言語、文化、宗教、文明のクロスロードの中心でした。毎年考古学研究者が、たくさんの芸術作品、美しい金、銀、銅の宝飾品や、何千年も前の墓からフレスコ画の壁画を発見しています。ブルガリアでは紀元前4600年に遡る世界で世界最古の金製品が発掘されています。現在ブルガリアの世界遺産は18件（文化遺産7件、自然遺産3件、無形遺産8件）です。

※駐日ブルガリア共和国大使館提供

東京富士美術館について

当館は 1983 年 11 月、東京・八王子市に設立された総合的な美術館です。コレクションは日本・東洋西洋の各国、各時代の絵画・版画・写真・彫刻・陶磁・漆工・武具・刀剣・メダルなど様々なジャンルの作品約 30,000 点で形成されています。

「世界を語る美術館」を“永遠の指針”としてこれまで各国地域の優れた文化を新しい視点から紹介する海外文化交流特別展を国内外で活発に開催し、1990 年には日本の外務省より「外務大臣表彰」を受賞。2008 年には新館がオープンし、常設展示室ではルネサンスからバロック・ロ可可・新古典主義・ロマン主義を経て、印象派・現代にまで至る西洋絵画 500 年の油彩画コレクションが一望できるようになりました。



問い合わせ先：TEL.042-691-4511 FAX.042-691-4623
E-mail: toiawase@fujibi.or.jp